

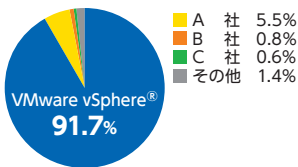
VMware と日立

変革が求められるこの時代には選ばれる理由

どんな業界、どんな企業にも、これまでにないほどの「変革」が求められています。日立の IT プラットフォームと、VMware が提供する仮想化といった先進的な技術を融合させて、その実現をご支援いたします。「変革」を実現するための 6 つの理由をご紹介します。

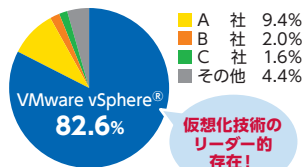
1 VMware 製品は、仮想化技術分野でシェア No.1

国内プライベートクラウド市場シェア



Source : 株式会社ミック経済研究所、サーバ仮想化 & オンプレミス型プライベートクラウドの市場展望 2013  
サーバ仮想化ソフト別、プライベートクラウドソリューション売り上げ

国内サーバ仮想化市場シェア



Source : 株式会社ミック経済研究所、サーバ仮想化 & オンプレミス型プライベートクラウドの市場展望 2013  
サーバ仮想化ソフト別、サーバ仮想化ソリューション売り上げ

仮想化技術のリーダー的存在!

2 日立は、VMware製品の認定技術者数が、国内トップクラス

日立は、頼れる存在になれるよう、「プロ」と呼べる技術者を熱心に育てています。

分野	日立グループの VMware 関連技術者数*1	日本国内での順位*1
サーバ仮想化	VSP	2,320人 1位
	VTSP	1,794人 1位
	VCP-DCV	519人 3位
デスクトップ仮想化	VCP-DT	19人 2位

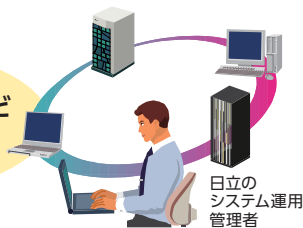
\*1 : 2015 年 4 月現在、VMware 調べ、日立システムズ、日立ソリューションズ、日立製作所、ニッセイコム およびこれら以外の日立グループ各社の合計人数、および順位です。

VSP : VMware セールスプロフェッショナル  
VTSP : VMware テクニカル セールスプロフェッショナル  
VCP-DCV : VMware 認定プロフェッショナル (Data Center Virtualization)  
VCP-DT : VMware 認定プロフェッショナル (Desktop)

3 日立は、VMware 製品の熱心なユーザー

日立は、VMware 製品を販売しているだけではありません。社内の 30 万人が VMware 製品で構築された仮想化基盤のユーザーとなり、最大限に「使う技術」を磨くことで、お客さまへ実用的なノウハウを提供しています。

起動速度を劣化させないなど  
快適な使い方を追求



日立のシステム運用管理者

4 高信頼が求められる基幹システム系を中心に、導入実績多数

このようにご相談をいただいています。

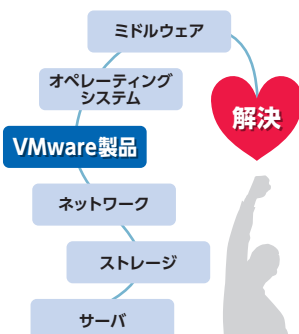
- ワークスタイル改革と確かな BCM を実現したい
- データベース基盤の仮想化に加え、短時間で復旧できるディザスタリカバリ環境を構築したい
- 複数データセンターの仮想環境を統合管理により運用効率を向上したい など

導入実績

建設会社様、金融・保険会社様、医療品メーカー様、システム開発会社様、学校法人様、機器メーカー様、不動産会社様、情報サービス会社様、ほか多数

BCM : Business Continuity Management

5 複雑な問題も、日立で解決



増えつつある複数製品にまたがる複合問題。それぞれのサポートをワンストップで解決できる力、体制を日立は持っています。

日立は VMware 製品のサポートにおいて、自主解決率 94% 以上\*2 を達成。この数字は充実した体制と高い技術力を物語るものです。

\*2 : 製品の開発元に頼らず障害や問い合わせ対応を日立内で解決できた率。2014 年上期の実績です。

6 日立品質の信頼性、安全性

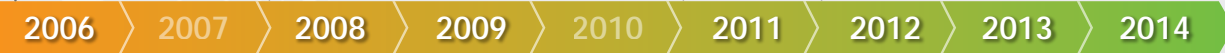
メインフレームの時代から、止まることが許されない銀行オンラインや鉄道の座席予約システムなどの開発に従事してきた日立。日立の品質が高いといわれるのは、原因を徹底的に究明する精神が根付いているからかもしれません。

50 年経った今でも、「品質保証」に対する精神は変わらず、自社開発ではない VMware 製品であっても、自社製品と同等に考えて対応にあたっています。



## VMwareと日立 強固なパートナーシップ

- 日立製作所とVMware製品の国内販売に関するOEM契約を締結
- VMware View（仮想デスクトップ製品）のOEM販売開始
- 日立ソリューションズのクラウド基盤 SecureOnline に VMware 製品を採用
- 日立情報システムズ（現 日立システムズ）と国内第1号のプレミアレベルのパートナー（再販）契約を締結
- 日立システムズ、データセンタ向け統合管理ソフトウェア VMware vCenter Operations Managerを採用
- 日立グループとの戦略的協業に関する共同プレス発表実施



- 日立電子サービス（現 日立システムズ）・日立情報システムズ（現 日立システムズ） VMware 関連技術者の育成開始
- 日立ソフトウェアエンジニアリング（現 日立ソリューションズ）とエンタープライズレベルのパートナー（再販）契約を締結
- ネットワーク仮想化領域における戦略的協業開始
- VMware Japan Partner Award を日立製作所、日立システムズがダブル受賞

## 日立のSEが語る、日立の強みと日立品質

### どんな場面においても、日立のチーム力

システムエンジニア（SE）は、お客さまとじかに接するフロントです。SEは何でも知っているイメージがあるかもしれませんが、実は強力な仲間が助けられています。それは日立のサポートチームです。サポートチームは、お客さまの問い合わせ、障害対応のみならず、システム構築の際にも我々SEに対して知識やノウハウの支援部隊として活躍しています。日立はどんな場面でもチーム力。バックがいてくれるからSEも安心してお客さまのために頑張っています。

産業界担当 SE Aさん

### 新しいことにひるまず、5年後をみすえたご提案

先進的なお客さまは、着手して1年後には運用を開始し、5年後にはもう新しいシステムというサイクルです。常に新鮮さが求められていると思っています。なので我々SEは、常に最新技術にアンテナを張り先進事例にチャレンジしています。場合によっては、お客さま自身もまだ気づかれない課題を解決できるように、いい意味でお客さまを巻き込んでいます。挑戦の場をくださるお客さまには感謝し、その分より良い結果でお返しできるよう日々努力しています。

産業界担当 SE Bさん

### 導入しやすく、運用しやすく

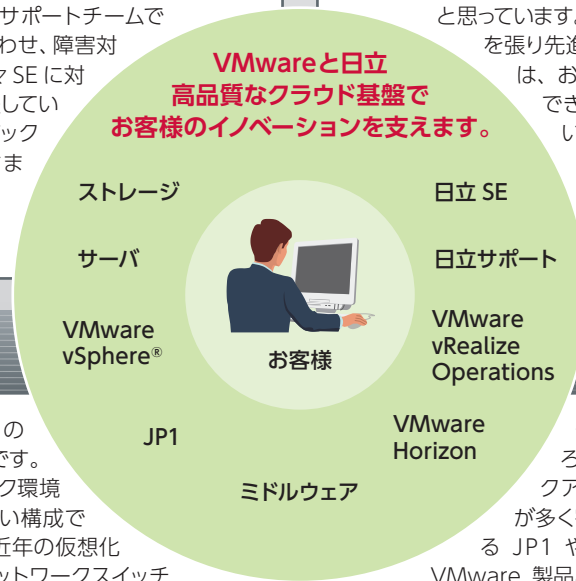
VMware 製品に最適化された日立の BladeSymphony が、おかげさまで好評です。サーバ、ストレージ、スイッチ、ネットワーク環境の一とおりが VMware 製品と相性の良い構成で組まれたセットで、高集約化されている近年の仮想化環境では必須になってきた 10Gbps ネットワークスイッチもいち早く搭載済みです。もちろん運用後のトラブル対応は日立がワンストップでご支援。サポートの手厚さは、ストレージからサーバ、ソフトウェアまでを手がける総合メーカーならではの強みだと思います。

産業界担当 SE Cさん

### 相談の多い管理のこと、バックアップのこと

仮想化の導入が進んだお客さまからは、「そろそろ個別の管理が大変になってきた」「バックアップをどうしたらいいか」といったご相談が多く寄せられます。運用管理で長年の実績がある JP1 や Hitachi Command Suite なら、VMware 製品とも連携しており、運用管理の負担を減らしてくれます。仮想化環境におけるバックアップも、データロスのないディザスタリカバリなどノウハウが豊富ですよ。

産業界担当 SE Dさん



HITACHI、BladeSymphony、JP1 は、(株)日立製作所の商標または登録商標です。SecureOnline は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。VMware、VMware Horizon、VMware vCenter Operations Manager、VMware View、VMware vRealize、VMware vSphere は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

●記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。●本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

#### ■製品情報サイト

<http://www.hitachi.co.jp/soft/vmware/>

#### ■インターネットでのお問い合わせ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>

#### ■電話でのお問い合わせは HMCC (日立オープンミドルウェア問い合わせセンター)

☎ 0120-55-0504

利用時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

携帯電話、PHS、一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用いただけない場合は、ダイヤルイン：044-850-9293 (通話料金はお客様のご負担となります)

